

第 16 回「日本語体験コンテスト in 成都」

実施報告書



＜後列左より＞菊池審査委員、佐井審査委員長、菊川実行委員長、斎藤様(在重慶日本国総領事館)、
大槻様(全日本空輸株式会社成都支店・空港所長)、吴実行副委員長
＜前列左より＞入賞者 5 名:高 潤、劉 姝汗、張 宇施、鄒 雨岑、饒 雨欣

〔開催日時〕 2018 年 9 月 15 日 (土)
予選会 13:00～、本選会 14:40～、表彰式 16:30～
〔場 所〕 中華人民共和国 ハイヤットホテル
〔共 催〕 一般財団法人 共立国際交流奨学財団
〔後 援〕 文部科学省
在重慶日本国総領事館
全日本空輸株式会社 成都支店
〔協 賛〕 株式会社 共立メンテナンス

<総評>

2003 年度より始まった「日本語体験コンテスト」は、昨年 15 周年を上海で迎え、記念大会として入賞者を 10 名に増やし、盛大に開催致しました。

本年度は上海の受け入れ機関の諸般の事情により、開催都市を四川省・成都市に変更し、第 16 回「日本語体験コンテスト in 成都」を 9 月 15 日（土）にハイヤットホテル 8 階にて開催致しました。

コンテスト参加申込者は 92 名、当日の参加者は 80 名でした。会場には、学生だけでなく、多くの学校関係者がご来場くださり、コンテストへの興味・関心が非常に高いことが分かりました。

一次予選会では、日本の地理、政治、経済、文化、文学、社会、流行などの幅広い分野から、聞き取り問題 30 問が出題されました。

その後予選会を通過した 17 名(内1名、体調不良の為辞退)が、本選会の 3 分間即興スピーチに進みました。本選会の即興スピーチでは、その場で出された 3 つの課題、

①あなたが日本語を勉強していて難しいと感じる文法(もしくは表現)はなんですか。具体的な理由や例を挙げて、話してください。

②あなたが日本語を勉強しようと思ったきっかけは何ですか。エピソードを交えて話してください。

③あなたの国と日本の文化・習慣で、大きく違う点は何だと思えますか。具体的な理由や例を挙げて、話してください。

というテーマから 1 つを選択し、5 分間のシンキングタイムの後、3 分間の即興スピーチを行いました。11 名がテーマ②を選択し、テーマ①を選択した人は 1 名、テーマ③を選択した人は 3 人となり、日本語を勉強するきっかけとなったアニメや漫画、日本人歌手への想いを、個性豊かにスピーチしていました。

そして、審査委員 3 名による審査の結果、入賞者 5 名が選ばれ、賞状と賞品目録が授与されました。

入賞賞品としては、2019 年 1 月 24 日(木)～1 月 29 日(火)(5 泊 6 日)の日程で、日本体験旅行に参加する権利を与えられました。

この日本体験旅行で日本の生活や文化を体験し、日本留学の夢を実現する為の旅行にしてもらい、さらなる日本への興味、理解を深めてもらいたいと思います。

<実施報告>

◆ 予選会

	時 間	内 容
予選会	13:00～13:05 13:05～	開会の辞・注意事項説明 予選会(日本語聞き取り問題 30 問)

日本の政治、経済、文化、文学、歴史、地理、社会、流行などについての聞き取り問題 30 問



受付の様子



応募総数 92 名の中から 80 名が
一次予選（聞き取り問題）に挑戦

◆ 本選会

一次予選会成績上位者 17 名が本選会へと進みました！（内1名、体調不良の為辞退）

	時 間	内 容
本選会	14:40～ 14:45～ 14:55～15:00 15:00～	予選会通過者発表(17 名) 開会の辞・審査委員紹介・注意事項説明 シンキングタイム スピーチ(質疑応答あり)

<スピーチ発表の感想>

3 つのスピーチ課題の内、最も選択者が多かったテーマ②では、日本のアニメや漫画、アイドルをきっかけに日本語を勉強するようになったというエピソードが多く、言葉を使って日本と中国の架け橋になりたいという夢を持ち、日々日本語の学習に励んでいる様子が伺えました。次に選択者の多かったテーマ②では、日本と中国の習慣・文化を多角的に比較していることが良く分かりました。テーマ①を選択した学生は 1 名だけでしたが、「おられる」という尊敬語と謙譲語の混ざった敬語の難しさをスピーチし、レベルの高い日本語能力を持っていることが良く分かりました。



スピーチ発表の様子

◆ 表彰式

表彰式	16:30～	「夢・日本体験賞」入賞者発表(5名)
-----	--------	--------------------

～式次第～

- 一、開会の辞
- 一、実行委員長挨拶
- 一、実行副委員長挨拶
- 一、来賓紹介
- 一、来賓挨拶
- 一、審査委員講評
- 一、入賞者発表
- 一、奨励賞授与
- 一、閉会の辞

＜実行委員長挨拶＞



菊川実行委員長

＜実行副委員長挨拶＞



吴 雪実行副委員長
(大原日本語学校 校長)

＜来賓挨拶＞



副総領事 斎藤 憲二様
(在重慶日本国総領事館)

＜来賓挨拶＞



大槻 正伸様
(ANA 成都支店 空港所長)

＜審査委員講評＞



菊池審査委員

＜賞状授与＞



菊川実行委員長より
入賞者 5 名へ賞状・目録の授与されました

＜奨励賞授与＞

惜しくも入賞を逃した一次予選通過者 11 名には、吴実行副委員長より奨励賞が授与されました。



【入賞者】『夢・日本体験旅行』（入賞者5名には5泊6日の日本体験旅行を贈呈いたしました）

氏名	在籍校
高 潤	電子科技大学
劉 妹汗	西南交通大学
張 宇施	成都外国语学校
鄒 雨岑	成都理工大学
饒 雨欣	四川大学



～コンテストの様子がSNSに掲載されました～



2018年9月19日（水）

在重慶日本国総領事館 微信より

<https://mp.weixin.qq.com/s/TuGiWOT5CauDsp9vTM3dzg>

2018年9月18日（火）

成都外国语学校 微信より

<https://mp.weixin.qq.com/s/FkYU2zo7hXoXMC6E6190gA>



< 謝辞 >



審査委員長 佐井 浩然

(学)共立育英会 共立日本語学院 理事

第16回「日本語体験コンテスト in 成都」は今年初めて、開催されることになったにも関わらず、規模、参加人数及び学生のレベル等すべてにおいて例年に引けをくらず無事に幕を閉じることができました。ご尽力頂いた関係者の皆様に感謝の意を申し上げます。

今回のコンテストには、約90名の日本語を勉強している高校生、大学生及び社会人が参加しました。予選会では、日本語と日本社会・経済・文化風習に関する問題を30問課し、参加者の中から17名が18点以上の優秀な成績で、一次予選を通過して本選会に出場となりました。本選会では、与えられた3つのテーマの中から自分で一つを選んで、5分間で自らの考えをまとめ、3分間の即興スピーチを発表してもらいました。発表者の皆さんは課題を正確に把握し、素晴らしいスピーチを聞かせてくれました。皆さんの日本語表現力とスピーチ能力の高さに驚嘆しました。誰を入賞者にするか、採点には本当に苦労しましたが、最終的に5名の学生が入賞しました。

スピーチで大切なのは、聞いている人に話の趣旨をしっかりと伝えることです。今回のスピーチコンテストでは、具体的な経験をもとに全体の流れを考えた説得力のある内容が多く、また、どの発表者も表情や身振り、手振りにまで配慮していて、聞き応えがありました。残念ながら今回は落選した参加者には入賞者の良いと思ったところを参考にして、次回のスピーチコンテストにも参加してほしいと思います。